

科目名	救急救命処置概論Ⅲ			授業の種類	講義	講師名	
授業回数	15回	時間数	30時間 (2単位)	配当学年・時期	救急救命士科2年	必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕							
<p>気管挿管の目的・適応を理解し、手技が確実の出来る。</p> <p>薬剤投与や輸液を目的とした静脈路の確保。</p> <p>薬剤投与の目的、適応が理解でき、手技が確実の出来る。</p> <p>血糖想定、ブドウ糖溶液投与の適応、適切な判断能力を身につける。</p> <p>ショックの病態の鑑別、心肺機能停止前の静脈路確保及び輸液の適応、適切な判断能力を身につける。</p>							
〔授業全体の内容の概要〕							
<p>導入講義後、手技のデモンストレーション。</p> <p>各班で血糖測定、心肺機能停止前の輸液、気管挿管、薬剤投与の手技練習。</p> <p>各処置を含めての想定訓練</p>							
〔講師の実務経験〕							
〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕							
<p>気管挿管の目的・適応を理解し、手技が確実の出来る。</p> <p>薬剤投与や輸液を目的とした静脈路の確保。</p> <p>薬剤投与の目的、適応が理解でき、手技が確実の出来る。</p> <p>血糖想定、ブドウ糖溶液投与の適応、適切な判断能力を身につける。</p> <p>ショックの病態の鑑別、心肺機能停止前の静脈路確保及び輸液の適応、適切な判断能力を身につける。</p>							
回数	講義内容						
1	薬剤（アドレナリン）について復習。薬理作用について						
2	薬剤投与手技・復習						
3	薬剤投与手技。実習班での手技練習。						
4	上気道～下気道解剖の復習。気管挿管、気管内吸引導入講義						
5	気管挿管手技						
6	気管挿管手技。実習班での手技練習						
7	気管内吸引手技。実習班での手技練習						
8	気管挿管、薬剤投与想定訓練						
9	糖尿病および低血糖の病態と治療について						
10	ショックの病態と治療について						
11	メディカルコントロールとオンラインでの情報伝達と指示要請について						
12	心肺機能停止前の静脈路確保、ブドウ糖溶液について（トラブル等含む）						
13	意識障害の鑑別と血糖測定等、ショックの病態の鑑別と輸液等のプロトコールの実施						
14	血糖測定機器の取り扱い。血糖測定						
15	心肺機能停止前の静脈路確保と輸液、血糖測定と低血糖発作へのブドウ糖溶液の投与シナリオ訓練						
	定期筆記試験						
【 準備学習・時間外学習 】							
【 使用テキスト 】							
書籍名		著者名		出版社			
第10版救急救命士標準テキスト				へるす出版			
【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】							
終講時試験。履修規定に準じる。							